

(2) 講 評

○委員長 時間が大分オーバーしているようですけれども、それでは、講評をさせていただきます。

まず、ひずみ集中帯の地殻変動特性に関する研究は、ひずみ集中帯の性格について新しい知見が得られており、大変有意義な研究成果を上げられたということで高く評価できます。特に3・11地震とその後の事象を捉え合わせて新しい知見が得られたことは、研究の方法及び手法に臨機応変に対応したということで評価できます。

本研究は長期の観測が必要であるので、これで研究は一段落ということですが、今後も続けていただきたいということ。さらに、観測地域をもう少し広げるように努力していただきたい。それによってひずみ集中帯全域の性格がよりわかってくるのではないかということですので、その辺、地理院も理解していただきたいということになります。

2番目に関しましても、研究の成果は非常によく上がっており、特に個別基準点の性格が非常に明瞭に特定できるようになった点は高く評価されます。今後、これはこれまでの誤差の削除についての一連の研究の中の最終段階的な部分になっていますので、むしろ今後データの公表のあり方について慎重かつ大胆な公表のあり方を検討していただきたい。特に間違ったデータをそのまま出すと、ある意味では大きな社会的な問題を引き起こすということがありますので、そのあたりは慎重にしていきたい。しかし、出し惜しみをしてしまっては有効活用ができませんので、その辺は大胆にやっていただきたいということで、それも研究の一環として今後進めていただきたいというのがこちら側の要望ですので、よろしくお願いします。

以上が研究成果に対する「講評」になります。